

会社案内

Corporate Profile

「品質で選ばれ成長する企業グループ」を目指して



このたびの東日本大震災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

東京海上グループは、各地に甚大な被害をもたらした、「未曾有の国難」といわれる東日本大震災の発生直後から、被災されたお客様に1日も早く保険金をお支払いできるように、グループの総力を挙げて取り組んでおります。

引き続き震災対応に最優先で取り組んでまいります。グループ中期経営計画「変革と実行 2011」の最終年度である本年度も、あわせて収益性、成長性、健全性を兼ね備えたグローバルな企業グループを目指し、業務に邁進してまいります。

東日本大震災を契機に、社会全体の「リスク」に対する関心は高まっており、「安心と安全」の提供への期待が従来にも増して寄せられています。こうした社会の期待に応え、「品質で選ばれ成長する企業グループ」を目指して、グループを挙げて取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後とも一層のご愛顧、お引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役社長 隅 修三

東京海上グループ経営理念

東京海上グループは、お客様の信頼をあらゆる活動の原点におき、企業価値を永続的に高めていきます。

- お客様に最高品質の商品・サービスを提供し、安心と安全をひろげます。
- 株主の負託に応え、収益性・成長性・健全性を備えた事業をグローバルに展開します。
- 社員一人ひとりが創造性を発揮できる自由闊達な企業風土を築きます。
- 良き企業市民として公正な経営を貫き、広く社会の発展に貢献します。

会社概要

名称	東京海上ホールディングス株式会社	所在地	東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビル新館
英文名称	Tokio Marine Holdings, Inc.		〒100-0005
設立日	2002年4月2日	従業員数	411名(2011年3月31日現在)
資本金	1,500億円	株式上場取引所	東京証券取引所第一部、大阪証券取引所第一部

(2011年7月1日現在)

2002年4月に東京海上と日動火災の共同持株会社として株式会社ミレアホールディングスを設立し、2008年7月に東京海上ホールディングス株式会社に商号変更しました。

東京海上グループの事業領域と主なグループ会社

東京海上日動あんしんコンサルティング
 東京海上日動キャリアサービス
 東京海上日動サミュエル
 東京海上日動ファシリティーズ
 東京海上日動メディカルサービス
 東京海上日動リスクコンサルティング
 東京海上ビジネスサポート
 ミレア・モンディアル
 東京海上日動システムズ
 東京海上日動HRA
 東京海上日動事務アウトソーシング

神港ビルディング
 東京海上日動安心110番
 東京マリンクレームサービス
 東京海上日動調査サービス
 東京海上日動事故サービス
 東京海上日動コミュニケーションズ
 東京海上研究所
 東京海上日動ベターライフサービス
 インターナショナルアシスタンス
 東京海上日動オートサポートセンター
 東京海上日動アトラディウス・クレジットマネジメント 等

東京海上グループ

一般事業

金融事業

海外
保険事業

国内
生保事業

国内
損保事業

(2011年7月1日現在)

東京海上日動
日新火災
イーデザイン損保
東京海上ミレア少額短期 等

東京海上日動あんしん生命
東京海上日動フィナンシャル生命

東京海上不動産投資顧問
東京海上アセットマネジメント投信
東京海上キャピタル
東京海上フィナンシャルソリューションズ証券
東京海上日動カードサービス
東京海上日動ローンサービス 等

世界39の国・地域、427の都市 (主な拠点、2011年3月31日現在)

●北米・中南米

Tokio Marine Management, Inc. (米国)
 First Insurance Company of Hawaii, Ltd. (米国)
 Philadelphia Insurance Companies (米国)
 Tokio Millennium Re Ltd. (バミューダ)
 Tokio Marine Compañía de Seguros, S.A. de C.V. (メキシコ)
 Tokio Marine Brasil Seguradora S.A. (ブラジル)

●欧州・中近東

Tokio Marine Europe Insurance Limited (イギリス)
 Tokio Millennium Re (UK) Limited. (イギリス)
 Kiln Group (イギリス)
 Tokio Marine Global Re Limited (アイルランド)
 Nile General Takaful Company (エジプト)
 Nile Family Takaful Company (エジプト)
 Tokio Marine Middle East Limited (アラブ首長国連邦)
 The Arab-Eastern Insurance Company Limited E.C. (バハレーン)

●アジア

東京海上日動火災保険(中国)有限公司(中国)
 東京海上火災保険(香港)有限公司(香港)
 新安東京海上産物保険股份有限公司(台湾)
 Baoviet Tokio Marine Insurance Joint Venture Company (ベトナム)
 Tokio Marine Sri Muang Insurance Co., Ltd. (タイ)
 Tokio Marine Life Insurance (Thailand) Public Company Limited (タイ)
 Tokio Marine Insurans (Malaysia) Berhad (マレーシア)
 Tokio Marine Life Insurance Malaysia Bhd. (マレーシア)
 Tokio Marine Asia Pte. Ltd. (シンガポール)
 Tokio Marine Insurance Singapore Ltd. (シンガポール)
 Tokio Marine Life Insurance Singapore Ltd. (シンガポール)
 P.T. Asuransi Tokio Marine Indonesia (インドネシア)
 IFFCO-TOKIO General Insurance Co. Ltd. (インド)

●オセアニア・ミクロネシア

Tokio Marine Management (Australasia) Pty. Ltd. (オーストラリア)
 Tokio Marine Pacific Insurance Limited (グアム)

東京海上ホールディングスの業務内容

東京海上ホールディングスは、グループ全体の経営戦略・計画立案、グループ資本政策、グループ連結決算を担うとともに、コンプライアンス・リスク管理等の基本方針を策定し、各事業子会社の経営管理を行っています。
また、上場企業としてIR・広報および、CSR推進機能を備えています。
これにより、企業価値の最大化に向けて、中長期的なグループ戦略の立案と収益性・成長性の高い分野への戦略的な経営資源の配分を行い、グループ全体の事業の変革と事業子会社間のシナジー効果を追求します。

東京海上グループ信用格付

(2011年8月25日現在)

格付会社	対象	東京海上ホールディングス	東京海上日動	日新火災	東京海上日動あんしん生命	東京海上日動フィナンシャル生命
スタンダードアンドプアーズ(S&P)	保険財務力格付		AA-/ネガティブ	A+/ネガティブ	AA-/ネガティブ	
ムーディーズ	保険財務格付		Aa2/ネガティブ			
A.M.Best	財務格付		A++/安定的			
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付		AA+/ネガティブ	AA/ネガティブ		
	保険金支払能力格付				AA+/ネガティブ	AA+/ネガティブ
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	AAA/安定的	AAA/安定的			
フィッチ・レーティングス	保険会社財務格付		AA-/弱含み			

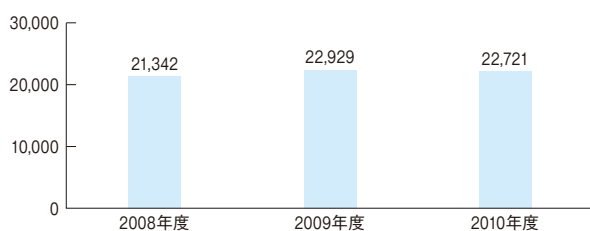
(注)最新の格付けは、東京海上ホールディングス株のホームページ(<http://ir.tokiomarinehd.com/ja/Ranking.html>)等でご確認ください。

東京海上グループ

主要な経営指標等の推移(連結)(2010年度)

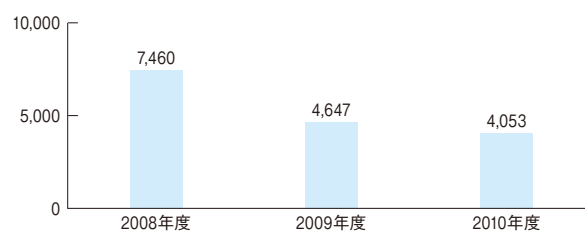
正味収入保険料(対前期増減率) **2兆2,721億円(-0.9%)**

■正味収入保険料の推移(単位:億円)



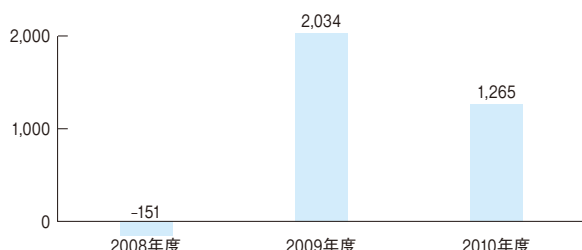
生命保険料(対前期増減率) **4,053億円(△12.8%)**

■生命保険料の推移(単位:億円)



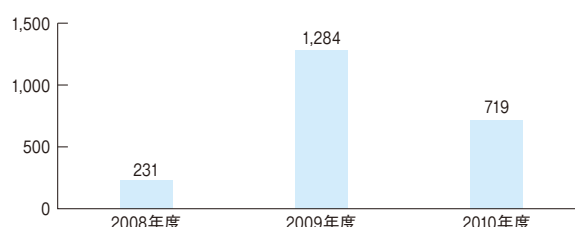
経常利益(対前期増減率) **1,265億円(-37.8%)**

■経常利益の推移(単位:億円)



当期純利益(対前期増減率) **719億円(-44.0%)**

■当期純利益の推移(単位:億円)



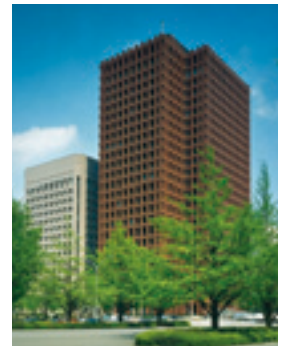
国内損害保険事業



東京海上日動火災保険株式会社

2004年10月、それぞれ125年・90年の歴史をもつ東京海上と日動火災が合併し、国内損害保険業界のリーディングカンパニーとして新たにスタートしました。健全な財務体質、高い専門性に裏付けられた商品・サービス開発力やリスクコンサルティング力、また、充実した代理店網や損害サービス網、世界に広がるネットワーク等を強みとし、お客様の立場に立った、適正な業務運営を行い、品質で選ばれ成長し続ける会社を目指していきます。

創業：1879年8月1日
資本金：1,019億円
総資産：8兆6,700億円
従業員：17,051名
所在地：東京都千代田区丸の内1-2-1
URL：<http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>
(2011年3月31日現在)



日新火災海上保険株式会社

主に国内リテール市場に軸足を置き、地域に根ざした営業活動を行う損害保険会社です。「お客様本位の保険会社」として、損害保険業界のトップランナーとなることを目指し、お客様にわかりやすい商品説明ツールの開発や独自の代理店手数料体系の導入等、あらゆる業務をお客様の視点で見直し、日々改善を進めています。今後もお客様本位の安心と補償をお届けし、最も身近で信頼されるリテール損害保険会社を目指し努力していきます。

創業：1908年6月10日
資本金：203億円
総資産：4,285億円
従業員：2,518名
所在地：東京都千代田区神田駿河台2-3
URL：<http://www.nisshinfire.co.jp/>
(2011年3月31日現在)



は、お客様の「信頼」を起点に、成長し

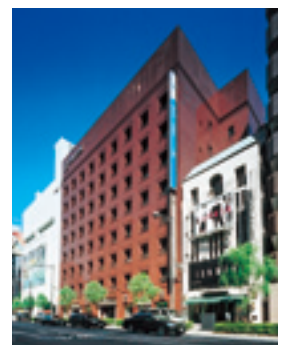
国内生命保険事業



東京海上日動あんしん生命保険株式会社

東京海上グループの中核事業である保険事業のうち、生命保険事業の中心的役割を担う事業会社です。1996年の開業以来、「お客様本位の生命保険事業」を基本方針に、革新的な商品と、代理店やライフパートナー等を通じたお客様のニーズに合った生命保険販売により、生命保険業界でも有数のスピードで成長を遂げてきました。これからも、多様化するお客様のニーズを的確にとらえ、業務モデルの更なる革新に取り組み、「日本一お客様・代理店さんから信頼される保険会社」を目指していきます。

設立日：1996年8月6日
資本金：550億円
総資産：3兆7,278億円
従業員：2,272名
所在地：東京都中央区銀座5-3-16
URL：<http://www.tmn-anshin.co.jp/>
(2011年3月31日現在)



東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社

変額商品に特化した生命保険会社として東京海上グループの一翼を担っており、「変額年金保険・変額保険等の事業を通じて、『人生の豊かさや安心』を提供し、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献する」という経営理念に掲げたビジョンの実現に取り組んでいます。常にお客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、お客様に喜んでいただける商品、お客様の視点に立ったサービスの提供に努めていきます。

設立日：1996年8月13日
資本金：480億円
総資産：2兆2,630億円
従業員：281名
所在地：東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower
URL：<http://www.tmn-financial.co.jp/>
(2011年3月31日現在)



海外保険事業



PHILADELPHIA
INSURANCE COMPANIES

A Member of the Tokio Marine Group

2008年12月、東京海上グループの一員となった米国損害保険グループです。卓越した商品開発力、規律あるオペレーション、専門部隊による強力なマーケティング力等を強みとし、1962年の創業以来、一貫して高成長・高収益を実現しています。今後は、当社が2011年度に設立した米国保険事業統括会社Tokio Marine North Americaのもと、東京海上日動の米国保険事業とともに、米国市場において更なる成長を目指します。

Philadelphia Insurance Companies

創 業：1962年
正味収入保険料：1,974百万米ドル
総 資 産：6,752百万米ドル
従 業 員：1,522名
所 在 地：米国ペンシルバニア州
パラキンウィッド

(2010年12月31日現在 現地財務会計ベース、
従業員数は2011年3月31日現在)



2008年3月、東京海上グループの一員となった英国ロイズ保険市場を代表する保険グループです。保険引受能力がロイズ市場の中でも最大級であるばかりでなく、その卓越した引受エキスパティーズにより、ロイズにおけるリーダーとしての地位を確立しています。2008年度には、東京海上グループ100%出資のロイズ・シンジケートを設立し、2011年度には、米国代理店へ出資する等、積極的に事業展開を進めております。今後も、東京海上グループの持つ資本力等の強みとの組み合わせにより、ロイズ市場において更なる成長を目指します。

Kiln Group

創 業：1962年
正味収入保険料：437百万英ポンド
総 資 産：1,309百万英ポンド
従 業 員：341名
所 在 地：英国ロンドン

(2010年12月31日現在 現地財務会計ベース、
従業員数は2011年3月31日現在)



続ける「世界トップクラスの保険グループ

金融・一般事業



東京海上アセットマネジメント投信株式会社

主に企業年金・公的年金等の運用受託、個人を中心とするお客様の資産運用ニーズに対応した投資信託の設定・運用、確定拠出年金向け投資信託の提供等を通じ、質の高い運用サービスの提供に努めています。また、ニューヨーク、ロンドン、シンガポール、上海にも子会社・駐在員事務所を有し、グローバルな運用ニーズに幅広く対応しています。今後も、独自の徹底的な調査と分析に基づく「一貫した運用哲学」を原点とし、顧客満足度の高い会社を目指していきます。

設 立：1985年12月9日
資 本 金：20億円
受託残高：5兆2千億円
従 業 員：209名
所 在 地：東京都千代田区丸の内1-3-1
東京銀行協会ビル

U R L：<http://www.tokiomarineam.co.jp/>
(2011年7月1日現在、受託残高は2011年6月30日時点)



東京海上日動リスクコンサルティング株式会社

東京海上日動をはじめとする東京海上グループ各社や、専門機関・アライアンスパートナーと連携し、企業が抱えるさまざまなリスクについて万全の対策を講じられるよう、あらゆる角度からとらえたリスクソリューションを提案しています。絶えず多様化、複雑化している企業・組織のリスクに対し、よりの確かつ迅速に対応できるよう、東京海上日動リスクコンサルティングのコンサルティング領域も時代と共に進化しています。

創 業：1996年8月1日
総 資 産：12億円
従 業 員：223名
所 在 地：東京都千代田区丸の内1-2-1
東京海上日動ビル新館

U R L：<http://www.tokiorisk.co.jp/>
(2010年12月31日現在)



企業の社会的責任(CSR)

地球環境保護活動

マングローブ植林事業

東京海上日動では、1999年からマングローブ植林プロジェクトを開始し、東南アジア・インド・南太平洋フィジーの計7カ国で6,824ha(2011年3月末現在)の植林を行いました。マングローブは二酸化炭素を多く吸収・固定することで、地球温暖化の防止に役立つとともに、津波等から人々を守る防波堤の役割を果たします。また水産・森林資源等、地域住民の生活に欠かせない物資を提供し、その生活の安定と向上をもたらす、地域貢献としての意義も有しています。



金融商品初「自動車保険・エコマーク」認定の取得

東京海上日動は2010年12月、(財)日本環境協会から金融商品として初となる「自動車保険・エコマーク[®]」認定を取得しました。認定にあたっては、新たに「ご契約のしおり(約款)」を冊子ではなく、ホームページで閲覧いただく場合(Web約款)、マングローブ2本分の植林に相当する金額を植林NGO等に寄付する「Green Gift」プロジェクトの展開等の取り組みが評価されました。

※商品・サービスのライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品に付与される環境ラベル。



トータルアシスト自動車保険
認定番号：10 147 001

地域・社会貢献活動

抗がん剤治療患者向け「タオル帽子」製作ボランティア

東京海上日動あんしん生命は、2011年2月、同社を含めた東京海上グループの関係者とその家族がひと針ひと針想いを込めて製作した、抗がん剤治療患者向け「タオル帽子」1,015個を盛岡市の市民団体「岩手ホスピスの会」へ寄贈しました。「タオル帽子」の製作は、盛岡市の市民団体「岩手ホスピスの会」が「がん患者さんやそのご家族の方々を支援したい」「闘病中の患者さんを勇気付けたい」という想いから始めたもので、同社はこの活動に賛同し、2009年から「タオル帽子」製作に協力しています。

東日本大震災に関する義援金等の寄贈

2011年3月の東日本大震災による被災地への支援として、以下のとおり義援金等を寄贈しました。

国内・海外グループ会社社員・代理店有志	約121百万円
国内・海外グループ会社	約79百万円
東京海上ホールディングスマッチングギフト	30百万円

上記のほかに、社団法人日本損害保険協会を通じた義援金、社団法人日本生命保険協会を通じた見舞金を寄贈しました。

プ」を目指します。

トピックス

欧米における成長に向けた新体制

<米国>当社は2011年5月、グループの米国保険事業を統括する持株会社「Tokio Marine North America」(以下、TMNA)を設立することを発表しました。東京海上日動の米国保険事業会社、2008年12月に買収したフィラデルフィア社、2011年8月に完全子会社化を発表した「First Insurance Company of Hawaii, Ltd.」、バックオフィス業務を受託するシェアードサービス会社(新設会社)がTMNAの傘下に入る予定です。

<再保険>2011年1月から開始した海外再保険事業の新体制下では、当社の再保険ブランドを「Tokio Millennium Re」(以下、TMR)に統一し、ロンドンの再保険拠点であるTokio Marine Global Ltd.の社名を「Tokio Millennium Re(UK) Limited」に変更しました。また、再保険事業の地域的なリスク分散および収益拡大を目的として、スイスならびにオーストラリアにTMRの拠点を開業しました。

中国・インドをはじめとする新興国マーケットへの展開

<中国>中国における現地法人である東京海上日動火災保険(中国)有限公司は、2011年8月、中国で3拠点目となる江蘇支店を開業しました。これにより、中国江蘇省に進出するお客様に、地域に根ざした迅速かつ高度なサービスをより近い場所から提供することが可能となります。今後、華北他のエリアにおいても段階的に支店網の拡大に努めていきます。

<インド>当社とインドの有力金融サービス会社であるエーデルワイス・キャピタル・リミテッド社:現エーデルワイス・フィナンシャル・サービス(以下、EFS)の合併で設立した生命保険会社「エーデルワイス・トゥキョウ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド」(以下、ETL)は、2011年7月に開業しました。ETLは、当社が国内外で培った保険事業に関する幅広いノウハウに加え、EFSのブランド力と顧客基盤を活用し、お客様のニーズに合った質の高い商品・サービスを提供することを通じて、インドにおける保険事業の規模・収益のさらなる拡大に貢献していきます。

東日本大震災への対応

東京海上日動や日新火災では震災発生直後から、被災されたお客様へ1日でも早く保険金をお届けするよう代理店と一体となり、グループ各社と連携して全力で取り組んでいます。

東京海上日動では、全国から東京海上グループの社員や鑑定人等を被災地および新たに設置したバックアップオフィスに派遣し、被災地に勤務する社員等とあわせて最大約2,200名の体制で2カ月間対応を行いました。これからも、保険金のお支払いを通じた被災地の復興支援に取り組んでいきます。



A03-90250(2) 改定201109

東京海上ホールディングス株式会社

東京都千代田区丸の内 1-2-1 東京海上日動ビル新館
〒100-0005
TEL.03-6212-3333 (代表)
<http://www.tokiomarinehd.com/>

TOKIO MARINE
Quality: 東京海上グループ